

科目名	マスコミュニケーション論			科目コード	1321
開講学科	文芸学科	単位数	4	形態	通信授業
教員名	窪田邦倫				
授業の目的及びテーマ					
<p>マスコミを除いて現代を語ることはできないと言われるほど、日常生活の各領域に大きな影響を与えているマスコミュニケーション。その世界と現代社会の関係を情報発信する側の立場を学びながら、理解を深めていく。そして「社会人に不可欠なメディアリテラシー能力の修得」をテーマとしたい。</p>					
授業概要					
<p>マスコミュニケーションは近年、大きく進化し、急速に発達・普及している。メディアを取り巻く環境の変化も著しく、社会に及ぼす影響力も計り知れない。新聞、放送、出版、電子メディアなどの歴史をたどりながら「第4の権力」といわれるマスコミュニケーションの現状と役割、影響力、問題点を探る。さらに、情報の受け手として大切な情報を読み解く力やジャーナリズムのあるべき姿、民主主義を支える「言論・表現の自由」「世論と人権問題」についても幅広く考察する。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：ジャーナリズムのあるべき姿 テキストをよく理解し、自分の意見を加えながら新聞、放送、出版、電子メディアが果たすべき役割と課題、理想像をまとめてもらう。</p> <p>第 2 回：世論とマスコミ マスコミュニケーションが社会に与える影響を幅広く考察するとともに、社会の風潮や世論形成、世論と政治とマスコミの関係についてもまとめてもらう。</p> <p>第 3 回：マスメディアの構造と特質 新聞、放送、出版、電子メディアの変遷をたどりながら、それぞれの産業構造や特質、将来像を自分の意見を交えながらまとめてもらう。また、急速に進化するインターネットが各メディアに与える影響についても所感を問う。</p> <p>第 4 回：表現の自由とメディアリテラシー 表現の自由の意味と役割、報道の自由と知る権利、マスメディアの責任、報道と人権についてまとめてもらう。また、関心が高まるプライバシー侵害や報道被害についても見解を問う。</p> <p>各回の課題レポートは、パソコン等を使用し、それぞれ 2,000 字程度にまとめる。手書きも可。A4、縦書き、40 字× 30 行、10 ポイント程度の文字級に設定する。</p>					
テキスト	「新 現代マスコミ論のポイント」天野勝文 他編（学文社）	参考文献	テキスト末尾に多数記載		
評価方法：					
通信授業は提出課題 4 件をもって評価する					